

障がいを持つ方でも障がいの等級がふれあい乗車証等の受給対象とならない方もいらっしゃる。この方々には、手帳

### 合理的配慮からの支援の充実

【質問 鎌田城行】



【発行】  
鎌田城行事務所  
〒980-0004青葉区  
宮町4丁目8-15  
電話Fax 222-0895  
公明党仙台市議団  
電話 214-8718  
Fax 711-3454

### 第3回定例会 鎌田議員の一般質問

※前号の続き

をお持ちであれば、例えばJRでは運賃の5割引きで利用できるなど事業者の配慮で支援策が講じられています。タクシーでは、1割引きです。

障がいを持つ方の社会参加を支えるふれあい乗車証等の制度とは目的など違うものですが、70歳以上の市民に対して敬老乗車証が社会参加を支えていただいています。仙台市民で70歳以上であれば障がいの有無、健康状態などに関わらず、皆様に交付されるものです。現在は、運賃の1割分を自己負担していただき上限12万円分まで利用できるものです。

障がいを持つ方でふれあい乗車証を持ってない70歳以上の方には、福祉割引用敬老乗車証もあります。ふれあい乗車証を持つ方には無料でバス・地

下鉄を利用でき、自己負担も上限の定めもないのです。障がいを持たない高齢者の方の社会参加に役買っている敬老乗車証は、自己負担分を除けば



■答弁 健康福祉局長

障害者交通費助成は、障がいのある方の社会参加促進に欠かせないもので、持続可能な制度として運用していく必要があります。

ふれあい乗車証も含めた障害者交通費助成全体については、コロナ禍の影響を受けた令和2年度に一時的に助成額が減少

10万8000円分の支援が受けられることになり

障がいを持つ方でバス地下鉄を利用できない方にとっては、タクシーか自家用車で年3万円分の支援が受けられるのでありますが、この格差は合

したものの、その後は交付者数、助成額ともに、増加し続けている状況で、制度自体の存続を考えると、助成額の増額は困難なものと考えます。

【再質問 鎌田城行】

3万6000円余まで支給した時期が過去にあったが、そこには戻れない、と。

今、頑張っていたという方々が、少しでも社会参加の機会を得ていく。もうすでに金額を超えて動けないからといって、1年間で活動する状況をおもんばかって制限をかけて生活されて

理的配慮に欠けるのではないかと、とのご指摘をいただいたところ。私も同感したところです。タクシー券、燃料代の3万円を、今後増額に向け是正するよう検討されるべきと思うのですが、所見を伺います。

いる方々の思いを考えれば、少しでも希望の持てる状況を作っていただけないか。「困難」という答弁は残念です。

■再答弁 健康福祉局長

障がいのある方の社会参加等々の観点から非常に重要な制度であることは議員もお話したとおりです。しかしながら、助成全体の交付数、助成額自体が増加している中で、限られた財源の下では、まず制度を維持することを考えていきたいです。

(次ページに続く)

# 敬老乗車証を 利用できない 方へのタクシー ー利用券や自 家用車燃料代 も選択できる ような制度を

## 【質問 鎌田城行】

徳島県神山町は、人口減少とマイカーの普及で、運行開始当初年間6万人利用していたものの昨今は3700人まで低下した町営バスを廃止して、今年4月からマイナンバーカードとスマホアプリを活用するタクシー利用支援事業「まちのクルマ・レッツ」をスタートさせました。町民の利用するタクシー運賃の85%を町が助成するものです。

市民の足を確保するために、行政がここまでサービスする手を打てるの

か、と驚きを隠せません。本市では、これまでも敬老乗車証を利用したくても思うように利用できない方がいらつしやることを直視して、速やかに対策を講じるよう議論しています。ふれあい乗車証を利用できない方のために福祉タクシー利用券や家用車燃料代を選択できる実例を参考に、敬老乗車証を利用できない方のための新たな仕組みづくりとして、タクシー利用券等を選択することが可能となるような仕組みづくりを検討いただきたいと思えます。所見を伺います。

## ■答弁 健康福祉局長

敬老乗車証制度は、高齢者の社会参加を促進し、福祉の増進を図る目的で実施しているものです。

更なる高齢化の進展に伴い、介護給付など高齢者施策全般の経費も確実に

に増加する見通しであることを踏まえ、敬老乗車証の持続性確保に向けた検討を進めている現状において、新たな仕組みを導入することは難しいものと考えます。

敬老乗車証の更なる利用促進に向けては、持続可能な制度としての見直し案と合わせ、その趣旨に沿った利便性向上策を検討してまいります。

## 【再質問 鎌田城行】

状況は困難であるからこそ工夫をして、何かしら手を打てないかと。駄目です駄目です。ずっと言われっぱなしで、市の言葉は聞きたくもない

# 発達障がい の支援を求めている 家族らが 安心して利用できる 支援体制とするための アーチルの 通所利用受給者証 発行事務の改善

## 【質問 鎌田城行】

本市には、発達障がいのある方と家族を、子どもから大人まで地域で安

と。そんな答えは聞きたくもないんだ、というふうに、市民の方からは返されることがあります。工夫をして、何かしらを進めているよ、とその思いになるような動きを願います。

## ■再答弁 健康福祉局長

敬老乗車証制度のあり方の検討については、高齢者人口の増加を踏まえて、制度を持続・維持可能ということで、まず進めています。仙台市役所経営プランにおける受益と負担の適正化に向けた実施項目の一つという風に位置づけた上で、現



在見直し案の検討を進めている状況です。

こうした中で、タクシー券等の選択制を導入するとなった場合、新たな需要喚起ということになり、敬老乗車証事業費全体の増加が見込まれ、ひいては高齢者施策全般の持続性というところにも影響していくことも懸念され、なかなか難しいものと考えています。

の育ちと暮らしを支える総合支援の要です。

(次ページに続く)

(前ページから続き)

「這えば立て 立てば歩  
めの親心」

子どもの成長を望む親  
の心情が詠われていると  
思います。

乳幼児期の子どもの成  
長は一日一日に目を見張  
るものがあり、待ったな  
しであります。6歳まで  
の関わりが大切だ、とも  
言われています。こうし  
た中で、我が子の健診や  
相談などの過程で「アー  
チルに行ってみるといい  
よ」とアドバイスを受け  
た方の思いはいかばかり  
か。今議会でも多くの議  
員から指摘されています  
が、予約から目的が果た  
されるまでの月日が掛か  
り過ぎるのです。

私のもとにもご家族か  
ら心配の声が寄せられて  
います。

2人目の子の、1歳児、  
3歳児のときの市の健診  
で、身長・体重が足りな  
い、との指摘。言葉が出

てこない。かかりつけ医  
から市立病院小児科専門  
外来を紹介され、受診し  
たところ医師から「3歳  
まで言葉が出ないことは  
ある。ちよつと様子を見  
ましょう」とのこと。自  
閉症かグレーなのでアー  
チルを紹介することはで  
きる、と。アーチルに登  
録し、ようやくこぎつけ  
た面談でも「様子を見ま  
しょう」。

やむに已まれぬ思いで  
先が見えず、抱え込んで  
しまつていたのです。そ  
うした折に、たまたま自  
宅に入ってきた広告チラ  
シで「児童発達支援」の  
場があることを知り、体  
験レッスン。サポートを  
始めてもらおうと思つた  
ところへ「通所受給者証」  
をもらわないと利用でき  
ない、とアーチルに連絡  
すると、また面談待ち、  
となつてしまつた、とい  
うのです。

電話で予約して最初の

## 《発達相談支援のご案内》



相談を受ける際にも、施  
設の通所利用に必要な受  
給者証を求めめるにも、療  
育手帳を申請するにせ  
よ、その都度、アーチル  
を通さなければ進まず、  
待たされることばかり。  
親子の安心を支えてくれ  
るはずの場が、まるで関  
所のような、気まずい状  
況に陥つてしまつている  
ようです。

相談を受ける際にも、施  
設の通所利用に必要な受  
給者証を求めめるにも、療  
育手帳を申請するにせ  
よ、その都度、アーチル  
を通さなければ進まず、  
待たされることばかり。  
親子の安心を支えてくれ  
るはずの場が、まるで関  
所のような、気まずい状  
況に陥つてしまつている  
ようです。

青葉・宮城野・泉区にお住まいの方は  
北部アーチル 022-375-0110

アーチルでの相談は予約制です。  
あらかじめ電話でお申し込みください。

若林区・太白区にお住まいの方は  
南部アーチル 022-247-3801

す。「様子を見る」とは、  
ただ待つのみなのでしょ  
うか? 「様子を見る(待  
つ)中で、できること」  
適切な対応、情報共有。  
たとえば、児童発達支援  
の相談窓口やサロンの活  
用。朝昼晩の子どもへの  
関わり方やペアレント  
レーニング、保育所の探  
し方など、親御さんに伝  
わっているのでしょうか。

これまでの指摘に対し  
ては、「アーチルの相談  
経験がすでにある方につ  
いては、その後の相談を  
電話だけでも良しとする  
対応も始めている」「転  
入や重度障がいの方な  
ど、すでに医療機関の診  
察を受けている方は、円  
滑にできるようにした」、  
と改善に動いているそう  
ですが、こうした改善策  
を発信することも必要で  
あると思うのです。

(次ページに続く)

(前ページから続き)

7・8月は新就学相談で、特に混み合う時期のために電話予約も月日がかかってしまっている、とのことでした。秋にも特別支援保育受付で同様のようです。こうしたアーチルの繁忙期を知らせることも、不信解消への一助になるのではないのでしょうか。

何より、全てアーチルを通さないと進まない、という仕組みについては、アーチルがすべてを抱え込んで、オーバーフローをおこしていないか心配です。

業務を適切に割り振ること。人材確保、人材育成、後継者づくり。2021年3月にスタートしたアプリ「せんだいのびすくナビ・かんたん母子手帳」などへアーチル支援情報を組み込むことなどDXの活用を検討すべきと思うのです。

受給者証の申請窓口を

各区役所の障害高齢課または家庭健康課に移管することや区役所で出張受付の機会を作ることなども検討されるべきと思いますが、所見を伺います。

■答弁 健康福祉局長

主に就学前の児童への療育を行う「児童発達支援」を利用するための受給者証発行については、お話されたように事前の相談歴がある場合には、改めての来所相談は不要とし、電話確認のみで発行するほか、医療機関等での診断がある方等については、他の来所相談の予約とは別に、相談日程の調整を行うなど、可能な限り早急に受給者証を発行できるよう努めているところです。

また、アーチルに数多くの相談が寄せられているなか、相談内容によっては、より身近な地域で子育てや発達に関する不

安を受け止められるよう、

保育所や学校などへの訪問体制を強化し、地域全体の支援力向上も図っているところです。

区役所等で、児童発達支援の受給者証の発行業務を担うことについては、発達状況などの見立てを行う専門職の配置や事業所との調整などの面で、なお課題があると捉えます。

引き続き、地域における相談体制の工夫や地域の関係機関等と連携を進めながら情報発信にも努め、必要な支援にタイムリーに繋がられるよう取り組んでまいります。

【再質問 鎌田城行】

課題は、何度も繰り返し答弁されました。

であるからこそ、その中にあるけれども、特に業務が集中しているから、市民の方を待たせているんじゃないやしませんか。その集中を解けば、少しでも

待たされずに済むんじゃないですか。何とかならないか、というその思いが、皆様と会ってお話するたびに、アーチルを責めてるわけじゃない。

アーチルに期待しているからこそ何とかしてほしいのです。

コントロールタワーですよね。アーチルが見守ってくれているから私達安心なんですよね。指し示すものがしつかりとされれば、その後は、信頼をして、安心をして子どもたちと我が家では一緒に成長していくんだと、そう語っていたらどう思うか。家族のことを思うと、できるところをしっかりと、考えて、何かしら手を打っていく、その一つの例として、区役所に分散できないか、ということとを申し上げましたので、改めて答弁いただきたい。

■再答弁 健康福祉局長

私も、アーチルの相談待ちの体制、様々お待たせいただいていることについては、大変申し訳なく思っています。

今年度から地域支援担当という専任の職員を導入して、地域の学校や保育所等の関係機関と連携して、地域で相談を受け、また、必要な場合は必要な対応が取れる体制を作っていくことを今年度取り組んでまして、そういうなかで、まず地域で安心して暮らしていただくことを念頭に置いてやっています。こういった取り組みもひいてはアーチル全体の体制の強化という観点も持っていますので、そういったなかで今お話しのごさいます相談待ちという部分について、それを短縮できる効果につながって行ければと考えています。